

令和2年7月30日

くまくま隊 出動！

くまくま隊とは、我が育成会の相談員などで構成する『知的・発達障がいを知ってもらうための疑似体験ワークショップ』を提供するキャラバン隊のことです。

私たちの子ども達が、どんな特徴があるのか、どんな困り感を抱えているのかを知っていただくため、熊本市の出前講座の講師派遣グループとして登録しています。

呼ばれば、どこでも出かけていこう！をモットーに地道に活動を続けています。

さて、今回呼ばれたのは、熊本県内の障害児の保護者グループ『tutti 熊本』さんです。依頼のお電話をいただいた時、「障害児の保護者のグループです」と言われましたので、「今まさに目の前の障がいのあるお子さんを育てていらっしゃるから、私たちの出番はないのでは？」と申し上げましたら、「わかっているようでわからないことも多いし、これから先の事を考えると不安もいっぱい。子育ての工夫とか、どんな将来が待っているのかも先輩ママさんに聞いてみたいんです。」とおっしゃっていただきましたので、「それなら、私たちにも少しはお役に立てるところがあるかもしれない」と、お引き受けしました。

とは言うものの、このご時世、コロナウィルス感染が再び拡大してきましたので、集まってのワークは無理との事で、ラインアプリを利用したグループトークでのワークショップとなりました。

ワークのようす

内容は、以下のとおり



1・疑似体験ワーク

- ①覚えてください（5つの物を覚えていただき、後で全部覚えていたか確認）
 - ・「言われたことをすぐに忘れる」「何度言っても覚えられない」を感じてもらうワーク
- ②描いてみよう！（りんご、ボール、ちょっと、ちゃんと、そこらへんを絵に描いて！）
 - ・「リンゴ・ボール」はすぐ描けるけど、ちょっとやちゃんとは??
 - 絵に描けない曖昧な言葉は理解するのが難しいことを知るワーク
- ③シングルフォーカスを体験（これは何の絵？ おせち料理の写真を見て答える）
 - ・全体を見て〇〇の絵と答えるのが普通だが、絵の中にうつっている興味のある物だけを見てしまいがち、『周りの物が見えなくなる』を体験
- ④不器用な手（軍手をはめて折り紙を折る）
 - ・実際にやってみると難しい。その上、となりで「早くして！」とか言われるともっと焦ってできなくなることを体験するワーク

2. 質問コーナー

- 子育ての悩みや、中学校、高校選びのポイント
- (障がいのある子ども以外の) きょうだいの育て方
- 感覚過敏について
- インクルーシブ教育について
- 年金のこと
- 将来に向けて、今やっておきたい備えについて etc…

午前 10 時から、12 時過ぎまでじっくり盛りだくさんの会となりました。

参加された方々からは、

「また、機会があったらぜひお願いします」とのありがたいお言葉をいただきました。

これでまた一つ、手をつなぐことができたことを実感する機会となりました。